

走行会イベント

# 「第 25 回 NAPAC 走行会 in 富士」 を開催

～過去最大の会員 23 社がブース出展～

10月4日（水）／富士スピードウェイ

当振興会の ASEA 事業部・モータースポーツ委員会（柳田春人委員長）は 10月4日、富士スピードウェイ・レーシングコースで「第 25 回 NAPAC 走行会 in 富士」を開催し、合計 105 台が参加しました。

2017 年最後の NAPAC 走行会は、天気に恵まれなかったものの、大きなトラブルもなく無事に終了致しました。

NAPAC 走行会はドライバーズミーティングでの高瀬嶺生部会長（ブリッド株）の挨拶の後、走行会で継続して訴求している ASEA 基準について萩原正志基準委員長（株エンドレスアドバンス）が PR しました。

また、ドラマには谷口信輝選手、片岡龍也選手、山田英二選手、村田信博選手、島谷篤史選手、いとうりな選手が駆け付け、コースやフラッグ等について丁寧に説明して頂き、より安全なサーキット走行のレクチャーを行いました。その後、サーキット走行初心者を集め、緊張をほぐしつつサーキット走行の留意点をよりわかり易く説明しました。

走行会では、前出の現役ドライバー陣による同乗走行体験や、恒例となりましたエンドレスアドバンス様のブレーキ温度測定サービス等が行われました。一方、Aパドックに設けた出展ブースゾーンには過去最大を更新する会員 23 社が参加しました。

走行会終了後は、3名のエンドレスレディにもお手伝い頂き豪華景品が当たる大抽選会を開催しました。ご協賛頂きました各位にこの場をお借り致しまして御礼申し上げます。

また、2017年のNAPAC走行会開催にご尽力頂きました関係各位に改めて御礼申し上げます。



開会にあたり挨拶する高瀬部会長



萩原基準委員長は ASEA 基準の有用性をアピール



プロドライバーによる同乗走行を実施



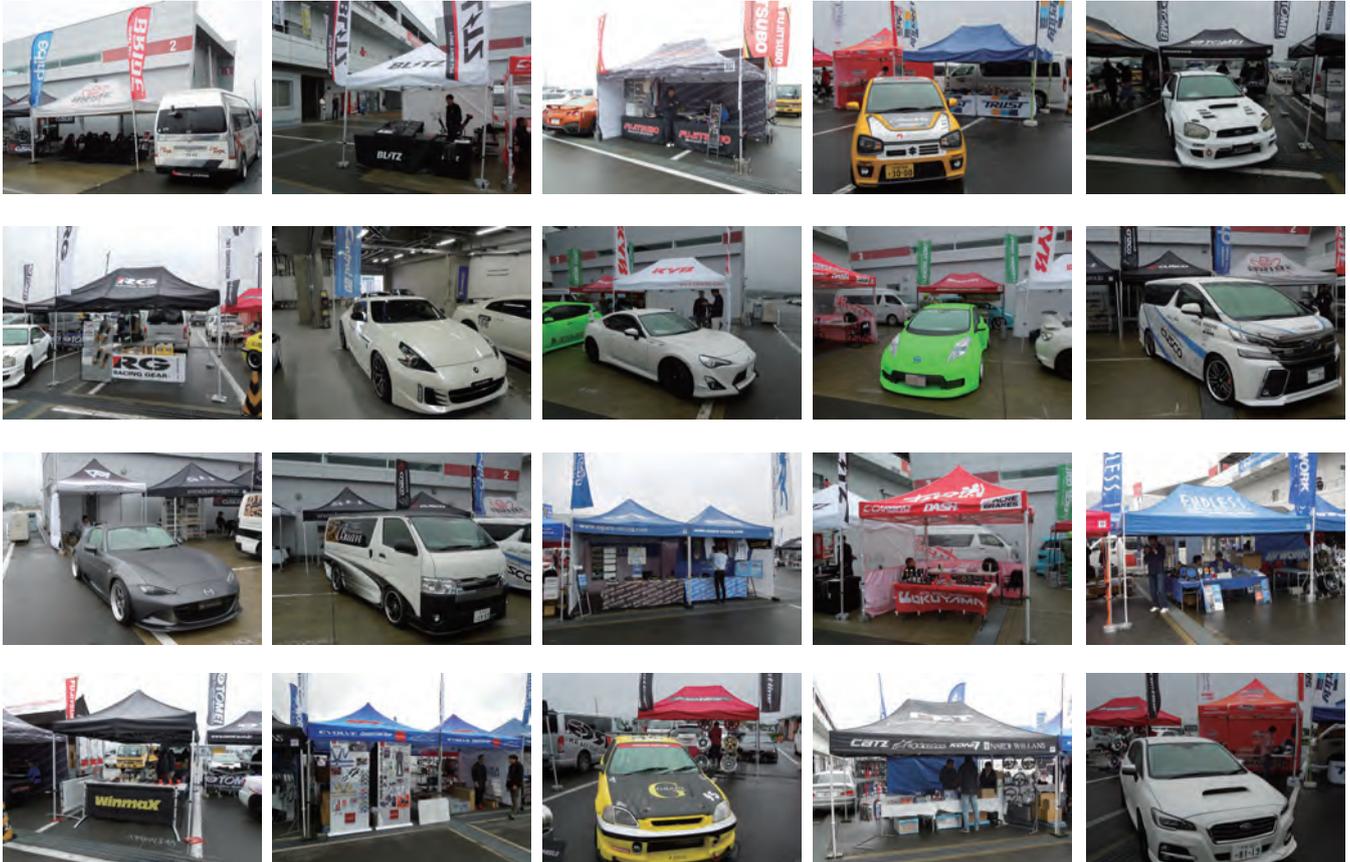
終了後は大抽選会を行い盛り上がりました



閉会の挨拶を行う柳田モータースポーツ委員長

### 過去最大の会員 23 社がブース出展

【出展会員】 ワーク、モモ・ジャパン、ブリッド、ブリッツ、藤壺技研工業、トラスト、東名パワード、辰日屋興業、セントラル、ケミテック、KYB エンジニアリングアンドサービス、クリーンエクセル、キャロッセ、ガレージ・ベリー、カズキオート、小倉クラッチ、オクヤマ、エンドレスアドバンス、エムケーカシヤマ ウィンマックスディビジョン、エイチ・ピー・アイ、E・M・C アルミホイール事業部、アサヒライズ FET 事業部、アクレ (逆 50 音順)



### AAAL 委員会活動

#### 2017 年度第 2 回スポーティングパーツ委員会を 富士スピードウェイで開催

「NAPAC 走行会」を視察しスポーツ走行トレンドも体感

オートアフターマーケット活性化連合 (AAAL、住野公一代表) のスポーティングパーツ委員会 (深澤広司委員長) は、10 月 4 日開催の 2017 年度第 2 回スポーティングパーツ委員会を、第 25 回 NAPAC 走行会 in 富士に合わせ富士スピードウェイで開催しました。

当日は AAAL の協力の下、当振興会が主体となって行いました 2017 年度の「8 月 2 日はオートパーツの日」告知活動である PR イベント (7 月 29 日～30 日、トレッサ横浜)、並びにプレゼントキャンペーン (7 月 1 日～8 月 31 日) の結果報告等について意見交換した他、走行会やブース出展 (23 社)、同乗走行体験等を視察し、スポーツ走行のトレンド等を肌で感じて頂きました。

